



インスピレーションになるう

# WEEKLY REPORT

高松東ロータリークラブ 週報

会長:東 圭介 幹事:穴吹 朋士



高松東ロータリークラブ

## プログラムのご案内

今週

(創立第2444回) 平成31年02月05日

客話「青年から見たRC」

ゴショウウン 様  
チンイテイ 様

次週

(創立第2445回) 平成31年02月12日

移動例会「若竹学園訪問・座禅体験」

## 前週例会レポート

### 創立第2443回例会出席報告 平成31年01月29日

| 前々回の訂正      | 会員総数(名誉会員を除く) | 出席免除会員      |
|-------------|---------------|-------------|
| 01/15 100%  | 54名           | (a)0名 (b)8名 |
| 出席計算に用いた会員数 | 出席会員数         | 出席率         |
| 53名         | 41名           | 77.36%      |

## 会長報告

1月はロータリーの職業奉仕月間です。職業奉仕とはロータリーの5大奉仕(クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕)の中でもロータリーの根幹的な奉仕であろうかと思えます。ロータリーの友1月号では、今に生きる職業奉仕として特集記事が組まれています。勉強になったことがありますので紹介させていただきます。

英語のVocational Serviceを日本語で訳したのが職業奉仕ですが、Vocationalは単なる職業Occupationという意味よりもむしろ天職 天の神様から与えられた世のためになる職という意味合いだそうです。また、奉仕という訳語は自己の利害を離れて公共のために尽くすという意味合いが強いですが、Serviceはもう少し幅広い概念で、他のもののためになる行為全体を指します。

ですから、Vocational Serviceとは天職を通じて他者のために行う行為ということになります。従いまして、例えば、弁護士さんが無料の法律相談をする、医師が僻地で無料診断する、これはどちらかということと社会奉仕であって、必ずしも職業奉仕ではないということになります。職業奉仕の観点からすれば、医師が、患者の立場に立って、自己の力を十分に発揮して医療行為をする、その結果が患者増を招き、さらに増加した患者のためにより良い医療を提供することで広く社会のためになる、こういうことが職業奉仕の考え方だということです。

職業奉仕月間に際して、もう一度この職業奉仕の原点に立ち返って見つめ直してみる必要性を感じた次第です。

当クラブ例会では職業奉仕委員会の計らいで伸興電線さんにお伺いする予定にしております。

ご参加よろしくお願いたします。